

福祉文教常任委員会協議会会議録

1 開会日	平成29年8月18日 午後 4時15分 開会 午後 4時31分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席委員	片野哲生委員長 三澤龍夫副委員長 竹内恵美子委員 吉川重雄委員 玉虫志保実委員 渡辺順子委員 関 威國議長
4 傍聴議員	
5 説明員	
6 職務のため出席した職員	局長 大槻 直行 書記 波多野昭雄
7 協議等の事項	(1) 常任委員会の審査・調査活動の推進について (2) その他
8 その他	一般傍聴 なし

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 皆さんこんにちは。ただいまの出席委員は7名全員でございます。

それでは、これより、福祉文教常任委員会協議会を開会いたします。委員は6名で、奥津委員は欠席でございます。

お諮りいたします。

ただいまのところ一般傍聴の希望はありませんが、希望があった場合、これを許可したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 直ちに本日の会議に入ります。

会議次第は、お手元に配付したとおりでございます。本日の議題は、1件ありますので、よろしく申し上げます。

議題(1) 常任委員会の審査・調査活動の推進について

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 議題(1)「常任委員会の審査・調査活動の推進について」に入ります。

本議題につきましては、議会改革に向けて継続して検討を進める事項の1つである、常任委員会の審査調査活動の推進について、常任委員会の任期である2年間において、調査研究テーマを設定し、調査を行っていくというものでございます。

それでは本日は、福祉文教常任委員会の調査研究テーマについて協議を行い、決定させていただきたいと思っております。

では、調査・研究テーマについて、御意見をお願いいたします。ございますか。

吉川委員。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 少子高齢化に向けての福祉対策というのは、すごく大事ななというふうに思っていますし、ある面では、今、町行政においては福祉のことに相当力を入れてはいらっしゃるけれども、例えば医療費の問題だとか高齢者問題について、いろんな面で実施体験みたいな形をやっております。その結果として、行政がどういうふうな形の中で、財政的に削減ができているとかふえているとか、そういうふうなものが全く見えてこないんですよ。ある面では、これから福祉対策はすごく大きな、財政的にも増大してくるのかなというふうな中で、どちらかといったらこれは言葉ではな

くて実際にやっているいいところにそういったところに調査をし、そしてそれをこの町に対してそれがどういうふうに生かすことができるのか、そういったことの調査をやっぱりしてみたいなど。具体的にどこだというのは今のところありませんけども、言ってみれば少子高齢化対策と言いますか、福祉対策についていろいろ調査研究をしていったらいいんじゃないのかなというのが私の御意見でございます。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 ほかに、ございますか。

竹内委員。

○福祉文教常任委員会委員【竹内恵美子君】 いまの現町長になってから、おあしす 24 を始めましたね。それによって医療費がどのぐらい、どのように変わってきたのか。もう 7 年目かしら、おあしす 24 健康おおいそが始まって。その辺の医療費の削減がどのように動いているのかなという気が、ちょうどこの辺で 7 年、8 年目になりますので、どうなのかなという気がしております。それに加えて他市町村でもどうかなという、その調査を。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 医療費削減の調査ということですか。

○福祉文教常任委員会委員【竹内恵美子君】 そうです。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 ほかに。

渡辺委員、何かありますか。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 今年のこれを見ると、やはり少子高齢化社会に対する福祉教育行政とかってあるんですけども、町長が子育てで選ばれる町とか、そういうことをよく言われているんですけど、一体全体大磯町は、現実的にどういうことを子育てで選ばれる町としてやっているのかっていうのがあまりよく見えてなくて。

例えば第 3 子無料化みたいなことはあるけれども、環境整備とかっていうと、私なんかこの間、孫の世話をしているつくづく思ったんだけど、全然公園がなくて子供を遊びに行かせるところは少ないしみたいな。それで子育て支援センターみたいなところも、置いてあるものなんかも、ほんとにこれで子育てで、皆さんがここに遊びに来たいと思うのかなというところもあったりして、そういうところの現状把握みたいなのを、ちょっと見たいなという気持ちはあるんです。

だから、なぜそういうことかという、やっぱり男女共同参画で、女性が働きに出なきゃいけないっていうような社会情勢っていうのが今すごくあって、大磯町でもやはり働きながら子育てするっていう人はすごくふえていますよね。だから、そういうものに、やっぱり大磯に子育てで選ばれる町としたら、やっぱり働いているお母さんたちに向けて、ど

ういうサービスができていいのかとか、どういう施設がちゃんと充実しているのかとか、今度、東部の支援センターができるみたいですが、そういう現実的な大磯の取り組みってものを、やはりやる必要があるんじゃないかなと思っています。

そうすると、男の人も育休をとったり、やっぱり働き方みたいなどころにも通じてくるし、この公共施設の再配置なんていうと、ここのところで、公民館は大磯はないけれど、どうやって子供たちが安心して、そこで遊べる状況が、そういうものはどこにどれくらいあるのかとか、何かすごく大きい範囲にも広がっていくかもしれないんだけど、とりあえずそういう現状をちょっと見て、調べてみたいなっていうような気がします。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 玉虫委員。

○福祉文教常任委員会委員【玉虫志保実君】 子育てもそうなんですけれど、介護もやっぱり男女共同というかその辺で。やっぱり今、乗り物がないとか、それも多分そういう。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 デマンドの話。

○福祉文教常任委員会委員【玉虫志保実君】 デマンドとは、また違う。なんていうのかな、上手く言えないんですけど、結局ざっくり男女共同参画とか言ったほうがいいのかと思って。やはり今までは行政にお願いするような時代だったと思うんですけど、これからは動ける人が動かないと。だからタクシーとかも、多分デマンドタクシーっていうと、そのタクシー会社が問題なんですけれど、その福祉っていう部分を入れると、どうもよそでは違う形の乗り物があるみたいで。だからそういうのを、大磯も研究していったほうが、やっぱり後々役に立つっていうか。済いません、わかりにくくて。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 副委員長。

○福祉文教常任委員会副委員長【三澤龍夫君】 4人が言ったから、それぞれをやればいい。吉川さんが言ったことや竹内さんが言ったことをやっては。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 子育てと高齢者対策だよ。その中で介護とかいろんなのが入るから。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 女性の負担みたいなのがすごく、女性に介護の負担が多くのかかってくるとか。

○福祉文教常任委員会委員【玉虫志保実君】 だから1人暮らしが多くて、それと若い子供からつなげる、そういう、なんていうんですか。

○福祉文教常任委員会副委員長【三澤龍夫君】 吉川さんは、高齢者対策。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、わかりました。

では、ほかにはございませんよね。

以上、本委員会の調査研究はいろいろ御意見が出ましたので、本委員会の調査研究テーマといたしましては、この少子高齢化社会に対する福祉介護行政をテーマにするしかないのかな。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】　まずは町内の実態調査と、委員長がいま言われたそういうところでいいじゃないですか。介護だけの問題じゃないから。

○福祉文教常任委員会副委員長【三澤龍夫君】　それで実態調査とか、そういうところもやろうと。総合的に検討しよう。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】　町内の福祉対策の実態を調査し、あとは将来に向けて、子育て高齢者対策がどうあるべきかというものを調査研究すると。もうそれでまとまったよ。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】　じゃあ、教育は入れなくていいってことですか。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】　教育なんか必要ないよ。もうそれでまとまったよ。教育っていうと、なんかちょっと違和感を感じる。前はそれをやっていたでしょ。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】　わかりました。

では、少子高齢化社会に対する福祉対策というテーマでいきたいと思います。これは町内の内部調査も実態調査もして、いわゆる外部にも見学に行くという形で。そういう形でお願ひしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。よろしいですか。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】　そういうのをまとめて1回、もう一度皆さんに、こういうのでまとまったのでどうだということだけ、ちょっと1回確認をしていただいて、9月の本会議で委員長が最後に、議長からの報告でいいじゃないですか。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】　やり方としては、例えば全員で同じものを作るっていうのも大変だから、例えば担当を決めて、男は男でとか、なんかどういうふうにするかっていうのも、もうちょっとこれから考えていってもいいのかなって思う。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】　それは今後、皆さんに考えていただいて。

では、わかりました。

議題（2）その他

○議会事務局長【大槻直行君】　視察の時期とかを。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 議題（２）「その他」は、視察の時期についてだそうで、これは10月でよろしいでしょうか。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 無理でしょう。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 10月下旬にちょっと私は入院しちゃう。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 事務局のほうから日程を、大体つかんでいる部分を言って。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 無理よ、来年でいいじゃない。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 来年だと2月の寒い時期になっちゃうよ。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 10月だって、もう再来月よ。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、事務局

○議会事務局長代理【波多野昭雄君】 ちょっとよろしいですか。

例年10月11月頃に議員研修に行かれていますので、もしその時期にということであれば、もう早めに日にちは決めておいたほうが良いということ。一昨年ですか、27年度については、議会の改選もあって、10月11月に行けなかったこともあって、翌年の1月に行ったことはございますが、通常は10月11月頃に行っていると、そういう状況です。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 この辺だと、子育てで選ばれる町っていうのをネットで調べると、平塚市とか藤沢市とかね。藤沢が一番すごい。近くていいよね。なんかわりあいと近辺で、だって気候とか行政の体制とか、いろんなものが似てなければ、ちょっとかけ離れたところに行っても全然参考にならない。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 規模がでかいし、藤沢市なんか財政豊かだから、あらゆる面で子育てに対して支援ができているわけよ。でも大磯みたいに財政が厳しいところでは。

○福祉文教常任委員会委員【渡辺順子君】 どこに行ったらって同じよ。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 大体規模的に同じようなかんじのところで見つけて、例えば京都の京丹後市だとか、ああいうところもちょっと1つの参考になるかなと、調べてみていただいて。平塚とか藤沢は行こうと思えば行きましょうよ。近場ですから。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 そうですね。日帰りだね。

では、一応11月を予定していただいて、あとはこちら委員長のほうにお任せいただければありがたいんですがよろしいでしょうか。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 はい、お任せいたします。11月初め頃がいいですね。そうすると歩けるようになっているかもしれませんので。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 はい、事務局。

○議会事務局長代理【波多野昭雄君】 事務局です。

11月ですと、今、渡辺委員が言われたように議会報告会がありますが、今のところ予定が入っていないのが、例えば11月の1日2日ですとか、2週目ですと6日から8日の間、その辺は今のところは予定は入っていない状況です。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 早いところ行こうよ。

○福祉文教常任委員会委員【竹内恵美子君】 じゃあ、1日、2日のほうがいいんじゃない。議会報告会があつて、担当はまたその前につくらなきゃいけない。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 その辺でちょっと、11月1日、2日がいいですか。

○福祉文教常任委員会委員【吉川重雄君】 結構です。

○福祉文教常任委員会委員長【片野哲生君】 ほかに御意見がなければ、これをもちまして福祉文教常任委員会協議会を閉会とさせていただきます。御苦労さまでした。ありがとうございます。

(午後 4時31分) 閉会
